

平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 薬王堂

コード番号 3385 URL <http://www.yakuodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西郷 辰弘

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 小笠原 康浩

TEL 019-697-8480

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	24,488	—	980	—	1,074	—	735	—
24年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	257.87	—
24年2月期第2四半期	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	20,472	—	7,420	—	—	36.2
24年2月期	18,810	—	6,798	—	—	36.1

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 7,420百万円 24年2月期 6,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	40.00	40.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 2月期の業績予想(平成24年 3月 1日～平成25年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,500	8.6	1,990	△10.0	2,113	△11.9	1,110	92.7	389.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期2Q	3,001,200 株	24年2月期	3,001,200 株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	147,810 株	24年2月期	147,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期2Q	2,853,397 株	24年2月期2Q	28,534 株

(注)当社は、平成24年1月4日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・連結子会社でありました有限会社薬王堂販売を、平成24年6月1日付で吸収合併したことにより、連結子会社が存在しなくなったため、平成25年2月期第2四半期累計期間より非連結の開示となっております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 仕入及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興の動きに伴い、緩やかな回復の基調が見られるものの、海外経済の低迷や長期化する円高など、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社の営業基盤であります東北地方においては、公共工事を中心に復興関連需要は高いものの、個人消費に落ち着きもみられるなど、業況の持ち直しの動きが鈍化し、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社といたしましては、ドラッグストアを岩手県に7店舗、宮城県に6店舗を新規出店するとともに、13店舗の既存店改装を実施し店舗活性化に努めました。また、岩手県のドラッグストア1店舗を退店し、当第2四半期会計期間末の店舗数は142店舗（うち調剤併設型4店舗、調剤専門薬局1店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は244億8千8百万円、営業利益は9億8千万円、経常利益は10億7千4百万円、四半期純利益は7億3千5百万円となりました。

なお、連結子会社でありました有限会社薬王堂販売を、平成24年6月1日付で吸収合併したことにより、連結子会社が存在しなくなったため、当第2四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、前年同四半期との比較は行っておりません。

また、部門別の業績は次のとおりであります。

#### ① ヘルスケア部門

医薬品は健康食品やドリンク剤、衛生用品では介護用紙おむつが伸張したものの、花粉症関連商品が振るわなかったことから低調に推移いたしました。調剤につきましては、堅調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比0.5%減少し、65億8千7百万円となりました。

#### ② ビューティケア部門

化粧品はカウンセリングメイク、基礎化粧品、男性化粧品が伸張し、トイレタリーではオーラルケア、ヘアケア、エチケット商品が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比4.3%増加し、47億8千3百万円となりました。

#### ③ ホームケア部門

日用品は衣料用洗剤、家庭紙等が伸張し、衣料品では服飾商品、履物等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比7.1%増加し、30億5百万円となりました。

#### ④ コンビニエンスケア部門

食品では飲料、菓子、日配品が伸張いたしました。酒類は発泡酒、ビール、焼酎等が伸張し、バラエティ部門においてはペット関連商品、文房具類が伸張いたしました。この結果、売上高は前年同四半期比10.3%増加し、101億1千万円となりました。

(注) 部門別の業績については、前第2四半期累計期間において、連結売上高と単体の売上高は一致しておりますので、前年同四半期との比較を記載しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の流動資産は96億2百万円となり、前事業年度末に比べ4億7千6百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、新規出店に伴い商品が3億3百万円増加したことがあげられます。

固定資産は108億6千9百万円となり、前事業年度末に比べ11億8千4百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、新規出店に伴い建物等の有形固定資産が11億4千万円増加したことがあげられます。

流動負債は98億5千9百万円となり、前事業年度末に比べ7億5千9百万円の増加となりました。主な増減要因といたしましては、未払法人税等で3億6千1百万円減少したものの、買掛金が12億7千3百万円増加したことがあげられます。

固定負債は31億9千2百万円となり、前事業年度末に比べ2億8千万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、長期借入金の新規借入れにより2億5千9百万円増加したことがあげられます。

純資産合計は74億2千万円となり、前事業年度末に比べ6億2千1百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、利益剰余金の増加があげられます。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金の増加が12億6千2百万円、投資活動による資金の減少が14億6千3百万円、財務活動による資金の増加が1億9百万円となったこと及び合併に伴う現金及び現金同等物の増加額が1億4千1百万円あったことにより、当第2四半期会計期間末には19億7千1百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローとそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、12億6千2百万円となりました。これは法人税等の支払額が8億3千4百万円あったものの、税引前四半期純利益が12億1千1百万円となったことや仕入債務の増加額が12億7千3百万円となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、14億6千3百万円となりました。これは、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が13億5百万円あったことや敷金及び保証金の差入れによる支出が1億3千万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1億9百万円となりました。これは、長期借入れによる収入が12億円あったものの、長期借入金の返済による支出が9億4千3百万円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間においては、概ね計画通りに推移していることから、平成24年4月10日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,921,905	1,971,381
売掛金	126,150	153,217
商品	6,330,861	6,634,799
貯蔵品	6,667	7,554
その他	740,361	835,763
貸倒引当金	△150	△150
流動資産合計	9,125,797	9,602,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,635,908	5,613,298
土地	686,380	686,380
その他(純額)	552,183	715,534
有形固定資産合計	5,874,473	7,015,213
無形固定資産	98,185	86,254
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,700,520	2,741,453
その他	1,041,795	1,056,850
貸倒引当金	△30,012	△30,012
投資その他の資産合計	3,712,303	3,768,292
固定資産合計	9,684,962	10,869,760
資産合計	18,810,760	20,472,325
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,213,044	6,486,524
1年内返済予定の長期借入金	1,563,360	1,560,382
未払法人税等	853,000	492,000
賞与引当金	251,409	304,037
ポイント引当金	21,917	25,940
その他	1,197,777	991,008
流動負債合計	9,100,508	9,859,893
固定負債		
長期借入金	2,207,534	2,466,952
退職給付引当金	87,167	93,449
資産除去債務	325,237	375,309
その他	291,428	256,631
固定負債合計	2,911,367	3,192,342
負債合計	12,011,875	13,052,235

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	799,300	799,300
資本剰余金	840,728	840,728
利益剰余金	5,237,783	5,859,460
自己株式	△78,687	△78,705
株主資本合計	6,799,124	7,420,782
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△239	△692
評価・換算差額等合計	△239	△692
純資産合計	6,798,884	7,420,090
負債純資産合計	18,810,760	20,472,325

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	24,488,020
売上原価	18,812,410
売上総利益	5,675,610
販売費及び一般管理費	4,695,223
営業利益	980,386
営業外収益	
受取利息	10,454
受取配当金	74
受取事務手数料	34,227
不動産賃貸料	536,483
その他	45,290
営業外収益合計	626,529
営業外費用	
支払利息	23,589
不動産賃貸原価	507,806
その他	1,198
営業外費用合計	532,594
経常利益	1,074,321
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	145,638
特別利益合計	145,638
特別損失	
固定資産除却損	1,298
減損損失	5,325
賃貸借契約解約損	1,600
特別損失合計	8,224
税引前四半期純利益	1,211,735
法人税、住民税及び事業税	481,618
法人税等調整額	△5,695
法人税等合計	475,922
四半期純利益	735,813

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期累計期間  
(自平成24年3月1日  
至平成24年8月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,211,735
減価償却費	369,927
減損損失	5,325
賞与引当金の増減額(△は減少)	52,628
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4,023
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,281
受取利息及び受取配当金	△10,528
支払利息	23,589
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	△145,638
固定資産除売却損益(△は益)	1,298
賃貸借契約解約損	1,600
売上債権の増減額(△は増加)	△27,066
たな卸資産の増減額(△は増加)	△304,824
未収入金の増減額(△は増加)	△94,378
仕入債務の増減額(△は減少)	1,273,479
未払金の増減額(△は減少)	△79,440
未払消費税等の増減額(△は減少)	△232,872
その他	64,878
小計	2,120,018
利息及び配当金の受取額	287
利息の支払額	△23,323
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△834,762
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,262,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,305,673
敷金及び保証金の差入による支出	△130,314
その他	△27,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,463,439
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△943,560
リース債務の返済による支出	△24,889
配当金の支払額	△114,192
その他	△8,014
財務活動によるキャッシュ・フロー	109,342
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△91,877
現金及び現金同等物の期首残高	1,921,905
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	141,352
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,971,381

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

①仕入実績

当第2四半期累計期間における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前年同期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
ヘルスケア	4,340,976	25.7	4,650,812	24.3	+7.1
ビューティケア	3,069,845	18.1	3,463,262	18.1	+12.8
ホームケア	2,019,647	11.9	2,480,402	13.0	+22.8
コンビニエンスケア	7,498,195	44.3	8,521,871	44.6	+13.7
合計	16,928,665	100.0	19,116,347	100.0	+12.9

(注) 前第2四半期累計期間において、連結の商品仕入高と当社単体の商品仕入高は一致しておりますので、前年同四半期との比較を記載しております。

②販売実績

イ. 部門別販売実績

当第2四半期累計期間における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前年同期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
ヘルスケア	6,619,910	28.6	6,587,999	26.9	△0.5
ビューティケア	4,587,367	19.8	4,783,476	19.5	+4.3
ホームケア	2,807,090	12.1	3,005,581	12.3	+7.1
コンビニエンスケア	9,167,173	39.5	10,110,962	41.3	+10.3
合計	23,181,541	100.0	24,488,020	100.0	+5.6

ロ. 地域別販売実績

当第2四半期累計期間における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前年同期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
青森県	2,819,200	12.2	2,902,060	11.8	+2.9
秋田県	2,610,152	11.2	2,683,813	11.0	+2.8
岩手県	12,375,300	53.4	12,668,269	51.7	+2.4
宮城県	5,068,661	21.9	5,914,518	24.2	+16.7
山形県	308,225	1.3	319,358	1.3	+3.6
合計	23,181,541	100.0	24,488,020	100.0	+5.6

(注) 前第2四半期累計期間において、連結売上高と当社単体の売上高は一致しておりますので、前年同四半期との比較を記載しております。